

# 令和5年大分県観光統計調査(令和5年1月～令和5年12月・確報)の概要

令和6年8月20日

大分県商工観光労働部 観光局 観光政策課

・この調査は、従業員10人以上の県内の宿泊施設の宿泊客数(189施設 令和5年1月時点)及び、主要有料観光施設(30施設)の交流客数などを調査したものです。従業員10人未満も含む県内全宿泊施設を対象とした宿泊客数調査については、観光庁「宿泊旅行統計調査」を参照ください。

- ・令和5年の宿泊客数は、令和4年と比べ22.3%増加した。  
(参考:対前年比の推移) 令和4年:45.8%、令和元年:△0.5%
- ・国内宿泊客数は、令和4年と比べ3.9%増加した。  
また、国内宿泊客の構成を居住地別に見ると、福岡県からの宿泊客が最も多く(構成比27.7%)、次いでその他九州(県内・福岡県除く)・沖縄(16.6%)、大分県内(13.8%)、からとなっている。
- ・外国人宿泊客数は、令和4年と比べ626.1%増加した。  
また、外国人宿泊客の構成を国籍・地域別に見ると、韓国からの宿泊客が最も多く(構成比53.0%)、次いで香港(14.2%)、台湾(14.1%)、中国(4.8%)の順となっている。

## 1 令和5年の県内宿泊客の動向

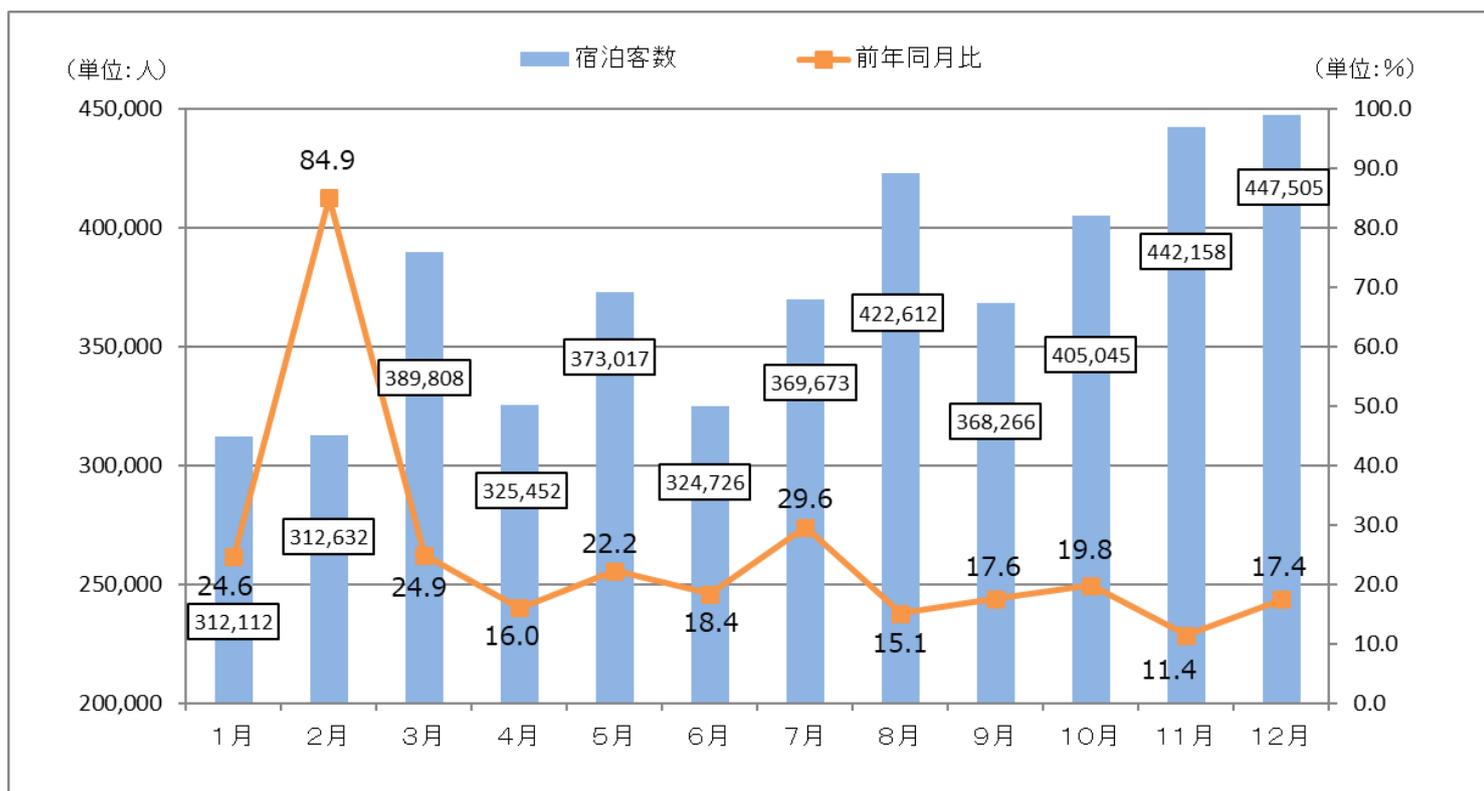
令和5年の県内における宿泊客数は、令和4年と比べ22.3%増加した。

月別推移を見ると、全ての月で令和4年を上回った。【図表1】

国内宿泊客数は、令和4年度と比べ3.9%増加した。これは、令和4年から継続して実施された「全国旅行支援」(10月末で終了)の効果や、新型コロナウイルス5類移行による旅行需要の高まりによるものと考えられる。

外国人宿泊客数については、令和4年と比べ626.1%と大幅に増加した。4月末の水際対策終了以降、約4年ぶりに定期便が就航した韓国をはじめ、香港、台湾等の東アジアを中心に多くの外国人が訪れた。

【図表1】令和5年月別宿泊客数(確報)



## 2 国内宿泊客の動向

令和5年の国内宿泊客数は、令和4年と比べ3.9%増加した。【図表2】

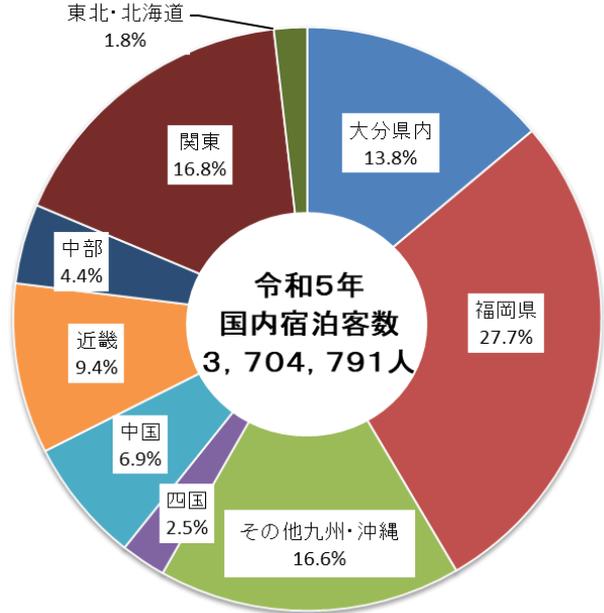
月別推移を見ると、2月を除き令和4年とほぼ同水準で推移した。【図表3】

発地別に見ると、福岡県からの宿泊客数が最も多く27.7%を占め、次いでその他九州・沖縄が16.6%、大分県内が13.8%の順となっており、近隣からが約6割を占める。一方、発地別宿泊客数の対前年比を見ると、近隣の県内、福岡県からの宿泊客数は減少し、遠方地域からの宿泊客が増加している。【図表2】

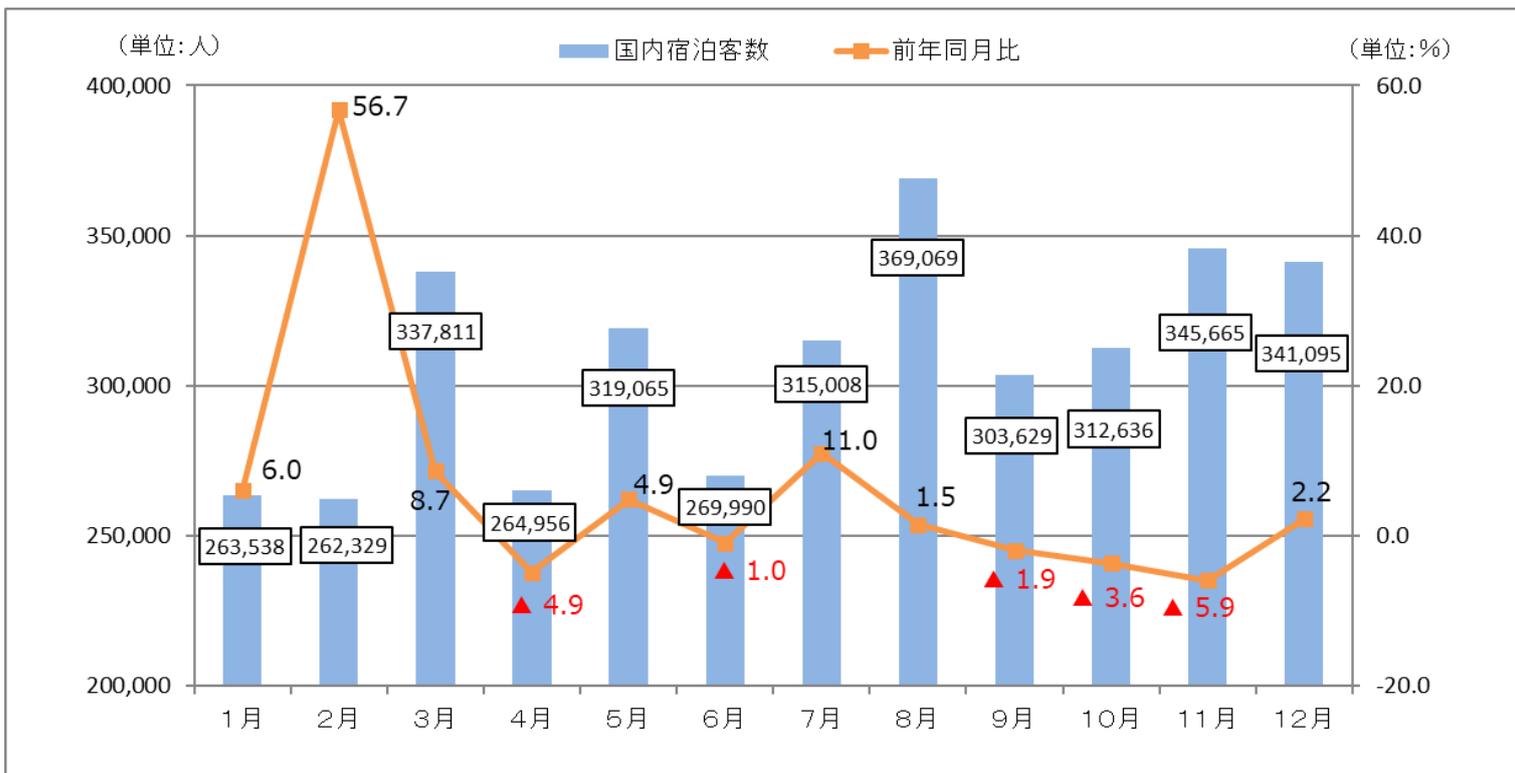
【図表2】 国内発地別宿泊客数および構成比

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)
大分県内	512,994	△12.3
福岡県	1,025,965	△5.4
その他九州・沖縄	616,748	+10.3
四国	92,555	+19.8
中国	253,906	+14.4
近畿	349,414	+17.3
中部	163,847	+12.5
関東	622,087	+14.8
東北・北海道	67,575	+32.1
国内小計	3,704,791	+3.9

国内宿泊客の構成比(令和5年)



【図表3】 令和5年月別国内宿泊客数



### 3 外国人宿泊客の動向

令和5年の外国人宿泊客数は、令和4年と比べ626.1%増加した。【図表4】

月別推移を見ると、4月末の水際対策終了以降はしばらく横ばいで推移していたが、10月以降は円安の進行も背景に大幅に増加した。【図表5】

国籍別構成比をみると、韓国からの宿泊客が約5割を占めるほか、香港、台湾、中国と、東アジアのみで約9割を占めている。また、国籍別宿泊客数の対前年比を見ても、東アジアを中心に増加しているが、その他外国の内、アメリカ、イギリス、フランス、オーストラリアでも前年から大きく増加した。【図表4】

【図表4】外国人発地別宿泊客数および構成比

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)
韓国	417,402	+566.0
香港	112,109	+1069.1
台湾	110,876	+1958.2
中国(大陸)	37,516	+1569.6
タイ	36,352	+324.0
その他のアジア	30,966	+178.2
その他外国※	42,994	+380.6
外国小計	788,215	+626.1

※その他外国の内

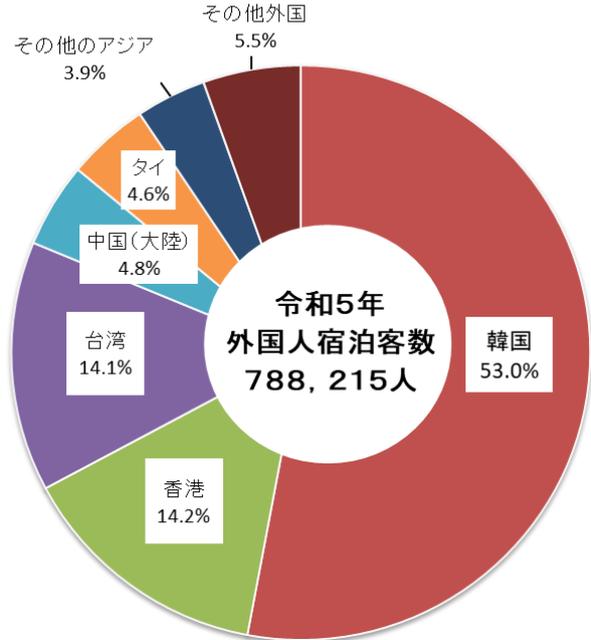
米：17,160人(前年比 +420.0)

英：2,653人(前年比 +724.3)

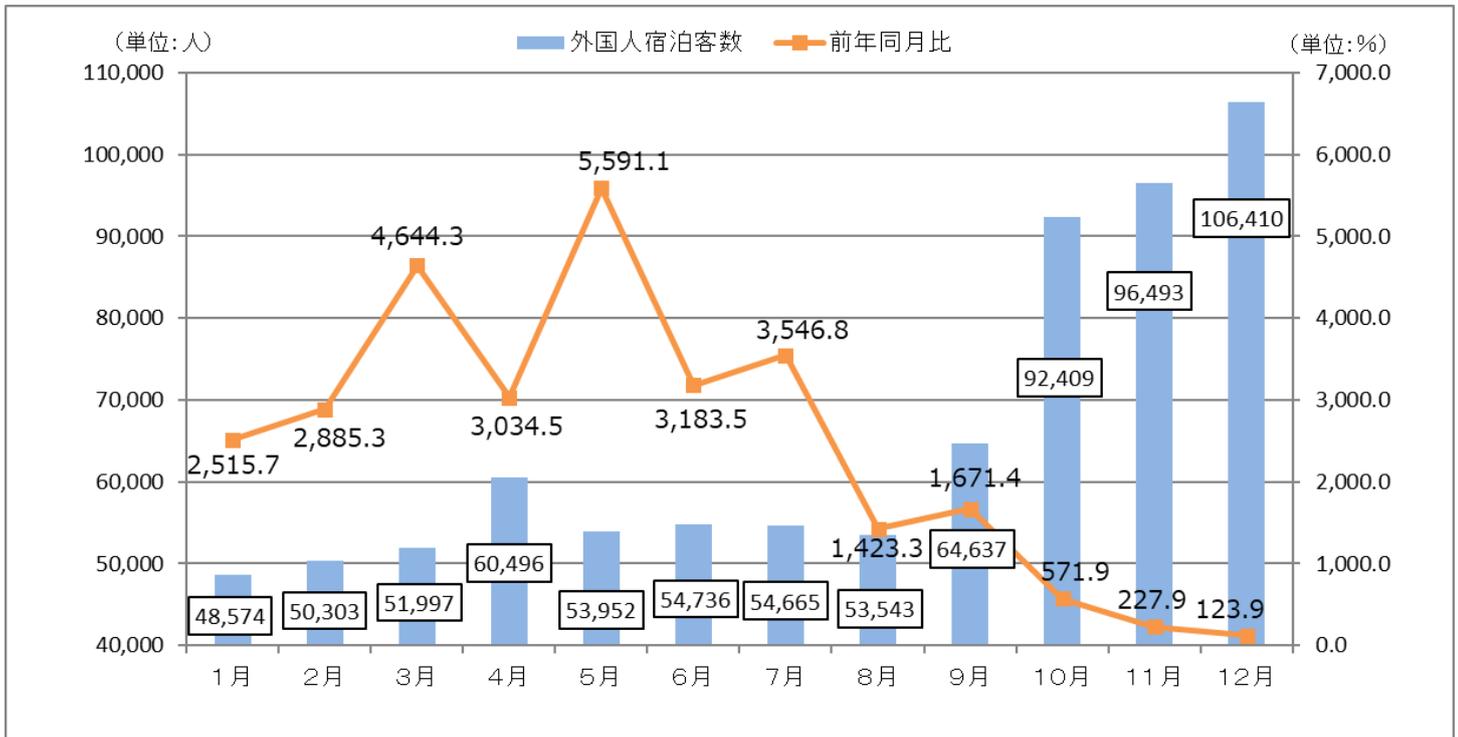
仏：2,382人(前年比 +560.9)

豪：8,785人(前年比 +633.8)

外国人宿泊客の構成比(令和5年)



【図表5】令和5年月別外国人宿泊客数



#### 4 市町村別宿泊客

令和5年の県内宿泊客数を市町村別に見ると、別府市が最も多く、全体の49.4%を占める。前年比ではすべての市町村にて増加している。【図表6】

【図表6】市町村別宿泊客数

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)	構成比 (%)
大分市	1,036,274	+12.8	23.1
別府市	2,221,045	+33.2	49.4
日田市	239,795	+5.6	5.3
竹田市	112,945	+34.3	2.5
由布市	329,915	+15.1	7.3
九重町	74,780	+1.1	1.7
その他の市町村	478,252	+15.1	10.7
県計	4,493,006	+22.3	100.0

#### 5 県内交流客数

大分県観光統計調査では、県内交流客数として、有料観光施設の入場者数や道の駅レジ打ち数等の項目について調査しており、その結果は以下のとおりとなった。

・ 有料観光施設(入場者数)	5,752,545人	(対前年比 +19.5%)
・ 道の駅(レジ打ち数)	3,352,650回	(同 +22.6%)
・ 大分空港(乗降客数)	1,766,966人	(同 +29.4%)
・ 県内港湾乗降客数	1,573,493人	(同 +29.0%)

#### 【参考】調査対象有料観光施設<sup>1</sup>(合計30施設)

屋内施設(14施設)	市町村
大分マリンパレス水族館「うみたまご」	大分市
大分県立美術館	
大分市立美術館	
スギノイパレス	別府市
アクアビート	
福沢旧居・資料館	中津市
中津城	
サッポロビール九州日田工場	日田市
地底博物館鯛生金山	
滝廉太郎記念館	竹田市
富貴寺	豊後高田市
安心院葡萄酒工房	宇佐市
朝倉文夫記念館	豊後大野市
国東市歴史体験学習館「弥生のムラ」	国東市

屋外施設(16施設)	市町村
高崎山自然動物園	大分市
別府地獄めぐり(別府地獄組合)	別府市
別府ロープウェイ	
城島高原パーク	
別府ラクテンチ	臼杵市
臼杵石仏	
風連鍾乳洞	津久見市
うみたま体験パーク「つくみイルカ島」	
くじゅう花公園	竹田市
岡城跡	豊後高田市
昭和の町	
熊野磨崖仏	
真木大堂	宇佐市
九州自然動物公園アフリカンサファリ	
稲積水中鍾乳洞	豊後大野市
ハーモニーランド	日出町

<sup>1</sup> 平成27年調査から、大分県立美術館、大分市美術館を対象施設として追加した。  
平成30年調査から、マリンカルチャーセンター、九州湯布院民芸村を対象施設から除外した。  
令和3年調査から、中津城、うみたま体験パーク「つくみイルカ島」を対象施設として追加した。